

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」徳島八万校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		加配職員を1名配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	支援室の環境は必要に応じてすぐに変更できるようにしている。	玄関は段差がありバリアフリー化されていない。必要に応じて検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動内容に応じてすぐに変更できるようにしている。日々の清掃により清潔保持に努めている。	日々の清掃で実施できないカーペットの洗浄なども検討していきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングには全職員が参加し、その都度検討している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し、取りまとめている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートを実施し、取りまとめている。毎年、事業所のホームページで公表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	法人内での内部監査を実施し、評価結果を業務改善につなげている。	第三者による外部評価はしていない。今後、必要に応じて検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部・外部問わず、研修には積極的に参加するように努めている。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ニーズの聞き取りはその都度行い、計画に反映している。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		きらりのブロック内事業所で使用しているアセスメントシートを使用している。	アセスメントシートの内容については継続的に改善を行う。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		計画作成に関しては必要な情報を集めるとともに、事業所内での検討および情報共有の内容に基づき作成している。	より具体的な内容が設定できるよう、職員の資質向上を含め、継続的に改善を行う。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議において計画内容の共有を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別での活動においては、担当職員が活動プログラムを作ることが多いが、集団での活動プログラムは全職員が参加し、立案している。	個別での活動においても複数の職員が関わることでプログラムの立案に関わる人数が多くなるようにしていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		こどもの発達段階に応じて活動内容を変えたり、興味の移り変わりに応じて工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別での活動が中心ではあるが、必要な部分では複数人数での関わりを持つことも計画の支援内容に入れている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		複数人数での関わりや教材のやりとりなど、必要に応じて打ち合わせをしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の内容やご家族からの連絡事項など、必要に応じて情報共有をしている。	

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回、支援記録を作成している。どの職員でも見られるように整理している。	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最長で6か月に1回のモニタリングをしている。計画期間に関わらず、必要時にはその都度見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		できるだけ児発管と担当指導員など、複数の職員で参加できるように努めている。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の協力をもとに必要な情報を関係機関からいただくなど、必要に応じて行っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		未就学児の利用実績が少ない状況。今後、必要に応じて実施していく。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		未就学児の利用実績が少ない状況。今後、必要に応じて実施していく。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		主に担当者会議への参加等で他事業所と連携している。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		月1回程度イベントも実施しているが、参加	

				は利用児のみとなっている。	
	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	研修会等の参加実績はあるが、会議への参加実績はない。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後に保護者と話をする時間をとり情報共有を行っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングなどの画一化した家族支援プログラムは実施できていないが、支援を実際に見てもらうことで指導員の対応をみることができるようにしている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行うとともに、内容変更時にはその都度説明を行っている。
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画内容や計画期間などの説明を行い、計画期間ごとに支援計画を作成して同意を得ている。
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時に定期的な聞き取りを行うとともに、随時の相談も実施している。
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		事業所内では保護者会などは実施できていないが、ペアレントトレーニングなど保護者参加型のイベントに関する案内などの掲示をしている。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	○		相談には随時対応するようにしている。

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやラインを利用し、情報発信している。月ごとに利用予定のカレンダーやイベント告知を手渡している。	
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の入った書類は鍵付き書庫に保管し、パソコンにはセキュリティーをかけるなど、個人情報の保護に努めている。	
③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		状態や特性に応じた視覚的情報や意思疎通手段を選択できるよう、状況の把握に努めている。	
④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○	イベントは利用者と保護者のみの参加としているが、地域で開催されるイベント情報については、閲覧スペースに掲示している。	
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは閲覧可能な状態で事業所内に設置している。月1回の防災訓練においてローテーションで訓練を実施している。	
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回の防災訓練においてローテーションで訓練を実施している。	
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始前には受付シートでの聞き取りを行	

				い、必要な情報の収集に努めている。	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事の提供はないが、医師の指示書に基づいた保護者からの情報をもとに、該当物質との接触がないように留意している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットや事故報告書を作成した際には事業所内での回覧を行っている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルを作成し、年1回の研修を実施している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束廃止のための研修を年1回実施している。身体拘束の該当事例はないが、必要時には検討を行う体制をとっている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」徳島八万校

保護者等数（児童数）：1（1）回収数：1 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				1		支援やイベントでの交流は今のところ予定していない。
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1					

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか				1		実施できていない状況なので、研修等への参加機会をつくり、今後検討したい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				1		事業所内での保護者会は実施できていないが、保護者参加型のイベントに関する案内などの掲示を継続する。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか				1		ブログやラインなどの情報発信を行っていることを周知していく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1					
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか				1	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				1		定期的な防災訓練を実施していることを終始していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	1					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。